

続後撰集

卷第四

夏歌

堀河院に百首歌たてまつりける時

権大納言師頼

くさふかみあさぢまじりのぬま水に

ほたるとびかふ夏のゆふぐれ

建保四年百首歌に

参議惟経

なつふかきさは辺にしげるかりこもの

思ひみだれてゆくほたるかな

卷第十四

恋歌四

建保三年内大臣家臣百首歌に、名所恋 前中納言定家

あしのやにほたるやまがふあまやたく

思ひも恋もよるはもえつつ

夏恋

源家長朝臣

よるはもえひるはをりはへなきくらし
ほたるもせみも身をばはなれず

「国歌大観」より